

連続講座2

2016年8月7日(日)13:30~ 愛知県陶磁美術館 本館講堂 埋蔵文化財展「弥生への旅 朝日遺跡」



西尾市 室遺跡

大型木桶を伴う導水施設の調査

都築暢也

(中京大学文学部歴史文化学科客員教授)

キーワード:室遺跡 大型木桶を伴う導水施設 調査担当者の 25 年目の懺悔



室遺跡(西尾市室・駒場町地内)

室遺跡は、愛知県西尾市に所在する複合遺跡である。国道 23 号岡崎バイパス建設に伴 う事前調査として、昭和62年(1987)に範囲確認調査を実施した結果、ピットなどの遺構 や平安時代の灰釉陶器や中世の山茶椀などの遺物が出土したため、8,800 ㎡を調査対象に、 平成3年(1991)4月から同年9月までの予定で(実際は平成3年5月から平成4年3月ま で)発掘調査を実施した。その結果、奈良時代から平安時代にかけての3基の大型木樋を 伴った導水施設と、12世紀後半から15世紀にかけての方形区画を有する集落が明らかに なった。

今回の発表では、古代の荘園開発のために設置されたと見られる大型木樋を伴った導水 施設について概要を述べるとともに、調査担当者の未熟な調査技術および工程等に対する 甘い考えに起因するいくつかの失敗を明らかにして、行政における発掘調査のあり方の問 題点を考えてみたい。









1、大型木樋を伴う導水施設

①揚水施設…土手状遺構(堤)

②導水施設

- ·水路(溝SD01·SD02)
- · 沈砂池 (土壙 SK01 · SK02)
- ·木樋 C:8世紀中頃

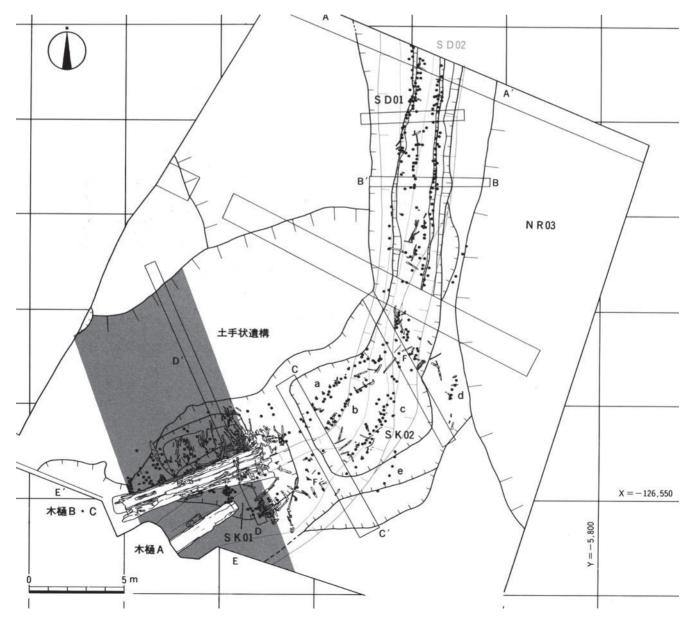
 \downarrow

木樋B:9世紀~10世紀後半

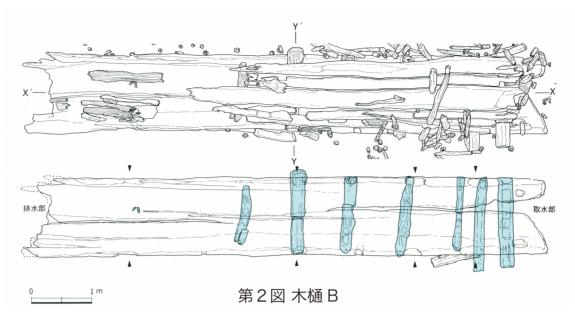
 \downarrow

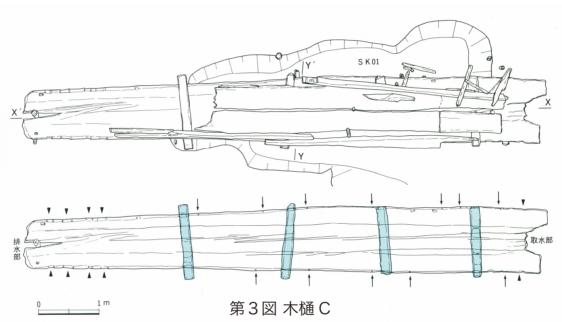
木樋 A:11 世紀前半

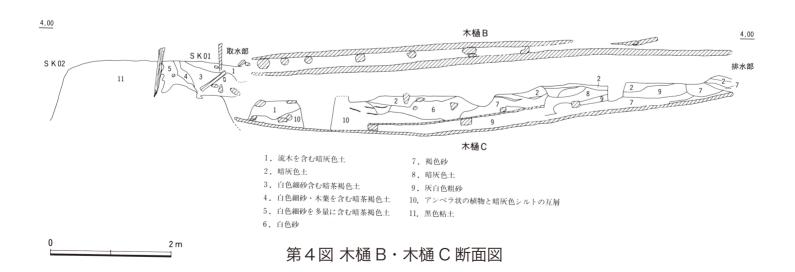
- ③給水対象(想定)
 - ・自然流路 (NR01) あるいは NR01 を締め切った後の水田 (の給水溝)

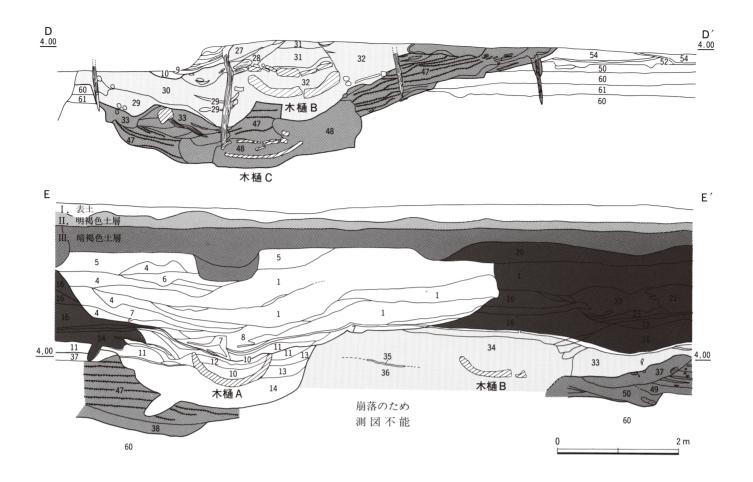


第1図 大型木樋関係遺構配置図

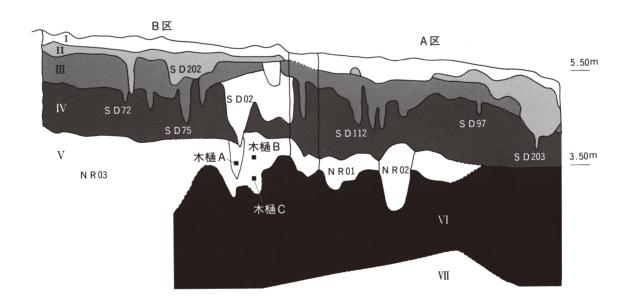




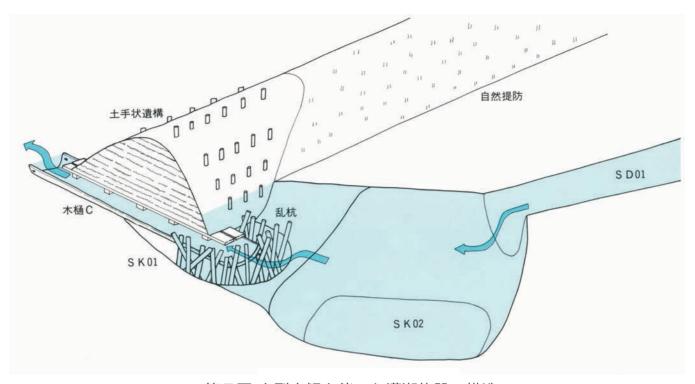




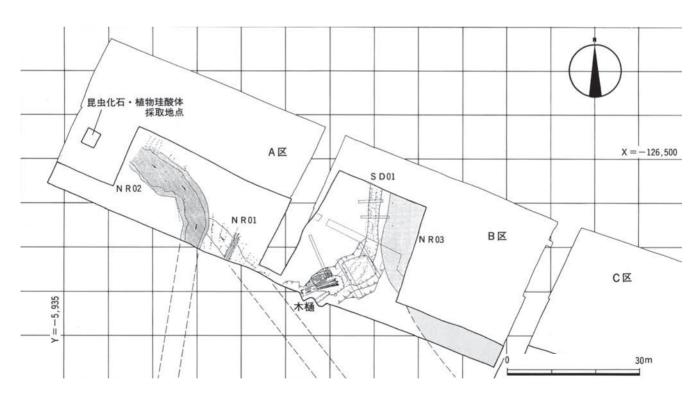
第5図 大型木樋関係土層断面図



第6図 室遺跡基本層序



第7図 大型木樋を伴った灌漑施設の構造



第8図 古代遺構配置図

2、木樋を伴った古代の導水施設について

3、担当者による 25 年目の懺悔



木樋 B 取り上げ 西から 920309



作業風景 北東から 920220



木樋B取り上げ 北東から 920309



木樋B取り上げ 東から 920309